

『Terra hunting』アプリの構想～地図と景色と思い出の融合～¹・小林 明日佳小林 佳栄²・荒木 香織³

キーワード

地図、写真、お出かけ、スタンプ帳、地理教育、地学教育

このアプリの構想は、某有名人が散策する番組が大好きな私が「こんなことができたらいいなあ」と思ったのがきっかけになる。小さい頃から家族で出掛けてはその場所の特徴などで写真を撮り、記念に残してきた。しかし、写真もどの場所かわからないことや、ここはどこ？と思うこともしばしばあった。学校ではその場所がどんな場所かを調べる学習（修学旅行の事前学習など）では地形の成因や文化の由来など多くの調査することがあった。

学校でも家族などの個人的なお出かけでも、折角調べたのなら、行ってきたのなら、記念に残し更に、次の発見をしたくなるようなアプリが欲しいと考えた。そこで地球を意味する『terra』と、狩りに行くように『hunting』散策するから『テラはん』と名付けた。

《どんなアプリなのか》

・地図と風景の融合

訪れた場所の写真を地図の中にピン留めし思い出を残すことができる。季節の変化など複数の保存と地図での確認ができる。

・スタンプラリーのように名所旧跡をめぐる

いくつかのテーマを設定し、その場所の記念写真をスタンプ帳にピン留めすると、スタンプを集めていくことができる。

また、その場所についてもアイコンを押すと解説サイトへつながるので、思い出がさらに深まる。次のお出かけの目標やきっかけに繋がる。

例えば...日本の世界遺産（文化庁）日本の百名山(ウキペディア)、

日本のジオパーク（サイト）など

・学校行事の学習教材として

地図に行程の道順や訪問予定の場所をピン留めし、事前に自分で調べたことをメモ書きでき、レイヤーで残すことができる。またその場で撮った記念写真や思い出も一緒に残すことが可能になるのでペーパーレスとして移動教室等でも持ち物が減る。

個人の旅行でも利用でき、夏休みなどの思い出や課題としても活用できる。

《今後の展望》

個人の利用、学習教材として学校での利用、だけにとどまらず、地図から見る防災の観点では自治体でも活用の可能性は広がっていると考えます。また、日本だけではなく、世界の地形が地図でつながり、思い出との融合が生まれれば、無限の可能性のあるアプリである。



1 学習院女子高等科

2 東京学芸大学地学教室

3 orisis